

令和6年度 大阪府スマートシティ戦略推進補助金 採択事業の概要

※市町村名 採択順

事業名称	モビリティポートの機能強化・自動運転車両による実証運行
市町村名	岸和田市
事業計画概要	令和3年度～令和4年度の取組みでは、地域のにぎわいの創出やモビリティポートの有効性についての効果を確認することができたことで、令和5年度には道の駅愛彩ランドへのモビリティポート及びシェアサイクルの設置・実装を実現した。今年度は更なる0SPFのステップアップとして、山手の公共交通ネットワークの再構築に向けた検討のための自動運転技術の実証及び拠点施設の機能拡充（モビリティポート自体の拡充と拠点整備化の促進）を図る。
採択コメント	幹線道路と山間部を通る難易度の高いルートでの自動運転への挑戦を評価。 近隣の自治体との更なる連携強化や、持続可能な仕組みの構築について、国も含めた行政での議論が更に深まることを期待。

事業名称	生体認証を活用したデジタル乗車券サービス実装事業
市町村名	河内長野市
事業計画概要	「生体認証（指静脈）」を本人認証の基盤として、データがつながり、住民の行動にもつながる市民向けICTサービスの拡充を図り、高齢者や年少者を含め、『誰一人取り残さない細やかな地域の仕組み』作りを目指す。 ID/パスワードやスマホを必要としない、「生体認証（指静脈）」で、本人確認、地域電子通貨・チケット・ポイント・クーポンなど多目的に利用できる「河内長野市生体認証地域通貨基盤サービス（仮）」の提供に向けた実装の第一段として、生体認証によるデジタル乗車券運用事業を実施する。
採択コメント	静脈認証の実証を重ね、高齢者や子供などユーザー属性別の認証精度向上に取り組んだうえでの事業化である点を評価。 「河内長野市生体認証地域通貨基盤サービス（仮）」の活用用途の拡大や、静脈認証の住民浸透に期待。

事業名称	AIを活用した漏水調査
市町村名	摂津市
事業計画概要	今まで多大な時間と費用をかけていた漏水調査を人工衛星画像のAI 解析で漏水箇所（推定）を抽出して、漏水調査（音聴）を実施することで効果的に漏水箇所を発見する。 市内全域を漏水調査するのに今までは5年間費やしていたが、AI調査を導入することで、1～2年で調査が完了する。 AI調査による実績として、抽出した箇所からの漏水の発見割合は4割になることから、従来調査よりも高い発見率になる。また、AI調査と漏水調査（音聴）の事業者連携を図ることで、漏水の発見する割合を上げることができる。
採択コメント	漏水調査の大幅な効率化と水道料金の維持（値上げ防止）に資する点を評価。 本年度の調査結果の利活用と、長期的なランニングコスト削減につながるよう北大阪上水道協議会を通じた広域展開に期待。

事業名称	AI自動音声ガイダンスによる「書かない、待たない、来なくてもよい窓口」の実現
市町村名	吹田市
事業計画概要	市民ニーズの多様化により、職員一人当たりで対応する来庁者の数が相対的に増加している。窓口での市民の待ち時間の増加や、問い合わせの電話が繋がらない状況となっている。 AIを活用した自動音声ガイダンスを導入することで、これら市民の待ち時間を減少し、利便性の向上を図る。
採択コメント	国民健康保険課、市民課、市民税課、資産税課、納税課の5課連携での窓口改革の事例として評価。 市民だけでなく、職員の負担軽減に関する効果検証と、バックヤードを含めた窓口全体の最適化にも期待。